

『言語文化教育研究』16巻 投稿募集

- 投稿締切：2018年5月末日（12月刊行予定）
- 詳細情報：言語文化教育研究学会 Web サイト：<http://alce.jp/journal/>
- 書式・分量：学会テンプレート使用・30枚以内 ※詳細はホームページを参照
- 投稿先：submit@alce.jp（『言語文化教育研究』編集委員会）
- 問い合わせ先：contact@alce.jp（言語文化教育研究学会事務局）

編集方針

ラディカルにことばと文化の教育を問い直す。『言語文化教育研究』はそのためのプラットフォームとなるべく言語文化教育研究学会の学会誌として装いを新たにします。日々の実践の中にある断片的な発見、感動、或いは違和感を持ちより、その意味を語り合うことで、新たな言語文化教育の可能性を拓く。それを実現するための開かれた言説空間を築きたいと私たちは考えます。

編集方針は以下の3点です。

- ・従来の言語教育研究が扱ってこなかったテーマや対象を積極的に取り上げる。
- ・言語文化教育の可能性を探求すべく、十分な紙幅を設け、多様な表現形式を認める。
- ・開かれた議論を目指し、実践研究、理論研究、批評、政策提言などを積極的に取り上げる。

特集テーマ

『言語文化教育研究』では、「特集テーマ」を設定しています。「特集テーマ」は、前年度の年次大会のシンポジウムのテーマを引き継ぎます。このことにより、学会の活動を有機的に連動させ議論を深めていきます。16巻の特集テーマは「ナラティブの可能性」です。特集テーマに関する論文は、「特集論文」と明記の上、ご投稿ください。なお、特集テーマ以外の論文も「一般論文」として募集しています。

フォーラム

研究という言説空間に今まで届いてこなかった多くの「声」の中に、「実践研究」を発展させる鍵があると考えます。そのような「声」を広く共有するために、「論文」とは別に「フォーラム」という形でより多様な原稿を募ります。「フォーラム」では、書評や提言、資料の公開に加え、現場で抱える悩みや小さな発見に基づいた議論や、実験的な研究の試みなどを掲載する予定です。また他研究会との連携や共同研究プロジェクトを推進するために、研究会の活動報告、共同研究プロジェクトの成果報告等も積極的に取り上げます。なお、「フォーラム」の掲載原稿は査読付き論文という扱いにはなりませんので、あらかじめご了承ください。